

ねらい

- 身近な政治を手がかりとして、国や地方公共団体のしくみと働きについて理解するとともに、福祉の充実、差別の根絶の大切さをとらえる。
- 国の政治のよりどころである日本国憲法を精神を理解するとともに、社会を構成する一員としての自覚をもつ。

歴史学習から…  
「あたらしい憲法のはなし」

戦争が終わって約70年。どんな国になったのかな。

歴史学習とのつながりを意識できるよう、現在の生活は日本国憲法をもとに国づくりを進めた結果であることがわかるようになる。また、憲法の基本的な考えについては、「あたらしい憲法のはなし」を読むことで、理解を深められるようにする。

豊か 幸せ 便利 平和 笑顔  
物や食べ物がたくさん 勉強  
科学の進歩・発達・発展 ……

ニュースから調べよう

事件 政治 国際問題 自然災害 …

町の「安全」「便利」から考えよう

横断歩道 標識 図書館 駅 バス  
スポーツセンター 観光 防犯カメラ  
歩行者天国 点字ブロック…

予想

ニュースや町の「安全」「便利」は、憲法と関係があるのだろうか

日本国憲法の3つの柱について知ろう

国民主権②

政治のしくみ  
選挙  
国会  
内閣  
裁判所

平和主義①

国際平和  
戦争放棄  
自衛隊  
防衛省

基本的人権の尊重②

自由と権利と義務 幸福追求権  
環境権 プライバシー権  
法の下での平等 個人の尊重  
学問の自由 生存権

生存権に関しては、道徳で取り扱うと同時に、憲法に能動的に関わることができることを理解できるようにする。また、公的な事柄とそうでないものがあることも押さえる。

ニュースや町の「安全」「便利」について、憲法との関係を考えてみよう①

選挙 国会  
裁判 地方自治

紛争 武器製造  
自衛隊 原爆

学校 税金 環境破壊 プライバシー  
新聞 テレビ ニュース  
点字 信号 横断歩道 歩道橋 遮断機  
男女平等 水道 電気 家 市役所 保健

関係性の把握

気づかないことがたくさんあった。人権に関わる人が多い。もっとたくさんありそう。

平和主義に関することが少ないな。

やっけていても、あまり効果がないこと、または憲法違反もあるのではないかな。

もっとやった方がいいこともあるのではないだろうか。

自分の問題への転換  
(問題の発見のきっかけ)

これまで学習してきた町の「安全」「便利」だけでなく、これまで気づかなかったものにも目が向くような写真資料を提示することにより、新たな問題に気づけるようにする。

自分たちの町の中心、緑地区はどんな様子だろうか(1枚の写真から)①

問題の発見

交通安全に関わるものが多いな。どんな人でも利用しやすいようにしているな。暮らしが便利になるようにしているんだな。防犯のためにしていることがあるんだな。点字ブロックは使っているのだろうか。なんで防犯カメラがあるのだろう。

問題解決のための事実調査  
関係性の把握

防犯カメラは必要だろうか④

個人的感情

何でも見られている気がする。プライバシー侵害。知られたくないことが知られそう。

町の人の声

よくわからない。子どもの安全のためにほしい。なくても安全。どちらでもいい。

地区の計画書

地区の課題として、防犯がある。防犯のために、カメラをさらに増やす計画がある。

市への聞き取り

町の人たちの要望から、必要と判断したらお金を出している。

町の実地調査

本当にたくさんある。駅、エレベーター、店にたくさんある。電柱などについているものもある。

本

知られたくないこと隠すことは、新しい権利として認められている。監視社会は危ないらしい。

- ・100%安全と言い切れないから念のため。
- ・カメラがあると、悪いことはやめようという気になる。
- ・国は、人々の安全を守らなくてはならない。
- ・緑地区の課題になっている。
- ・市で決めたことは変えられない。
- ・お店や駅にもおいてある
- ・もっとたくさん置いてもいいくらいだ。
- ・カメラがあることはわからない方がいい。

- ・目立った犯罪は起きていない。
- ・知らないうちに見張られている気がして嫌だ。
- ・プライバシー権の侵害だ。
- ・何となく気持ちが悪い。
- ・カメラがあることが、はっきりわかるようにしてほしい。
- ・公園とかにあつたらいやだ。

治める立場と、治められる立場がある。考え方によっては、双方とも、幸福追求権を侵しているし、逆に守ろうとしているとも考えられる。両方の立場で考えられるようにしたい。

価値の判断 (本時)

やっぱり映りたくない人がいるから、必要ない。憲法違反だ。  
映りたくない人がいても、犯罪が防げるならしかたがない。  
多くの人が望んでいるなら、必要だ。自分のことだけ考えてはだめ。  
立場によって主張する権利は違う。主張するだけでなく、お互いの考えを尊重し調整していくことが必要なのではないだろうか。

新たな問題提起

自分たちが考えたことを提案しよう②

提案書を作ろう ← → 地方公共団体の役割

住民の願いと地方公共団体の役割とのつながりわかるようにする。